

質 問 順 位	3	質 問 者	山 本 正 信 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 市政運営の基本的な考え方	1. 三期目の折り返し地点で公約の達成と総合計画進捗について	1. 前田市政がスタートして10年が経過しようとしています。総合計画を策定し、市政運営に当たられてきたと思いますが、厳しい財政状況の中で困難な舵取りだったと推察します。 市長の任期残り2年で、可能なかぎり公約の実現と併せて総合計画の推進に向け、理事者・職員が一丸となった取り組みが必須と思いますが、お考えを伺います。		
	2. 新型コロナウイルス感染症対策について	1. 令和2年度は新型コロナウイルス感染症により、当市においてもクラスターが発生するなどし、市内経済界にも深刻な打撃がありました。引き続き予断を許さない状況の中、地域経済がコロナ禍から立ち直るためには、国・北海道などの支援をはじめ、困窮している業種に寄り添い、各種支援金の確保や市独自の支援を通じて雇用を確保するなど対策が重要と思いますが、お考えを伺います。		
2. 元気な産業と活力あるまちづくり	1. 市内農業経営の人手不足とICT導入について	1. 人手不足対策の一環として、農業用大型ドローンなどのICT技術のさらなる導入を図るとされていますが、具体的な導入計画について伺います。 また、将来の展望としてICT技術の導入などにより農地集積が一段と進み、より一層規模拡大も進んでいくと考えますが、農家戸数の減少は地域経済への影響も懸念されるところです。 そこで、地域の経済は農業が支える、例えば十勝型の農業（大規模複合とJAによる農産物加工を通じての付加価値向上と雇用の創出）を目指すお考えはないのかを伺います。		

質問順位	3	質問者	山本正信議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
	2. 新卒者の地元定着について	1. コロナ禍の今が地方への企業移転のチャンス到来と思います。都会から企業が移転してくれば、当然都会からの移住者も見込まれ、併せて新卒採用の道も開けることと思います。 そこで、アフターコロナに向けた「ワーケーション」モデル事業について伺います。		
3. 豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり	1. 滝川ふれ愛の里について	1. 民間事業者の指定管理が順調に経過し、新設のキャンプ場も全道的に人気の場所となっています。このエリアはパークゴルフ場なども含め滝川への集客の拠点となってきていると思われます。 そこで、滝川ふれ愛の里に併設され、長期間にわたり閉鎖されている農産物直売所を民間などに貸し出して、今一度活用を図ることを検討するべきと思いますが、見解を伺います。		
	2. 観光事業のあり方について	1. 昨年度はコロナ禍の中、菜の花まつりは中止となりましたが、令和3年は万全の対策を講じた上で再開の道を模索すべきと思いますが、お考えを伺います。 また、昨年たきかわ観光国際スクエアが開設されましたが、コロナ禍で滝川への観光客は激減しました。今後、どのような活用を図られるのか、展望を伺います。		
4. 機能的な生活基盤の充実したまちづくり	1. 道路・橋梁整備維持対策について	1. 市内の道路は未舗装路線も僅かに残るだけとなりましたが、改修工事と併せて未舗装道路解消を目指していただきたいが、簡易舗装などでは経年劣化が目立ち、相当の予算と時間がかかることが予想されます。老朽化した橋梁改修と併せて長期的な計画樹立が必要と思いますが、お考えを伺います。		

質問順位	3	質問者	山本正信議員	
件名	項目	要 旨		メモ
	2. 街路灯の維持について	1. LED化を通じ、維持費軽減や街路灯廃灯時の助成金の新設については評価するところです。しかし、江部乙地区の一部では、町内会がないなどの理由により街路灯の維持さえ難しくなっている地域があると聞いています。 また、町内会がない路線街路灯の電気料をボランティア団体が負担しているところもあり、市が直接管理も検討する段階ではないかと思いますが、お考えを伺います。		
5. 誰もが住みよい安全 安心なまちづくり	1. 介護・高齢者対策について	1. 令和3年度から第8期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がスタートしますが、計画の一番の要は介護予防事業につきます。該当者へのきめ細やかな調査対応が求められ、住み慣れた地域で一日でも長く健康で元気に暮らせるための方策が必要だと認識していますが、検討及び実施予定の施策について伺います。 また、在宅介護の必要性から、家族を介護するために仕事を辞めざるを得ない人に対する支援も重要だと思いますが、国などへ制度改正を求めている考えがあるか伺います。		
	2. 防災対策について	1. 自然災害未然防止対策として河川の「緊急浚渫推進事業」を進めるとしていますが、市内での対象箇所とどのくらいの期間を想定しているか伺います。 また、市内の河川・排水路は、国・北海道・市・土地改良区の用地や民地など多岐にわたっていますが、どの部分を実施するのか併せて伺います。		
	3. 空き家対策について	1. 「滝川市空き家等対策計画」を策定するとのことですが、近年相続放棄の土地家屋や、相続人のいない物件が散見され、地域でも大きな問題となっていますが、その対策について伺います。		

質問順位	3	質問者	山本正信議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
6. 未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり	1. ICT教育について	1. GIGAスクール構想の進め方と将来展望について伺います。児童生徒1人ひとりがタブレット・パソコンを利用できるように進められていますが、それらに対応できる教員の資質向上が不可欠です。その対策について伺います。 また、コロナ禍が拡大したときオンラインでの授業も考えられますが、市内では対応できるのか併せて伺います。		
	2. 障がい児対策について	1. 新生児聴覚障がいの早期発見を目指し、費用助成拡大が図られることは大変効果的政策と思います。該当者は市内でどのくらいいるのか伺います。 また、障がいの種別は多岐にわたっていますが、1人も欠けることなく支援されていると思います。市内での障がい児の総数と支援内容についても併せて伺います。		
7. 市民が活躍するまちづくり	1. 江部乙地域の活性化について	1. 昨年12月リニューアルオープンした農村環境改善センターは、江部乙地域住民の活動拠点として機能強化を図るため、地域力を活かした指定管理者制度の導入について検討を進めるとありますが、将来的にどのような指定管理者が望ましいと考えているのか伺います。		

質 問 順 位	3	質 問 者	山 本 正 信 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
8. 効率的な行政運営によるまちづくり	1. 財政健全化と滝川市立病院経営改善計画について	1. 今や財政健全化は市立病院の経営改善と車の両輪となっていると認識しているところです。 昨年の12月議会では、令和5年までに黒字化を目指し計画通り着実に進めていくと説明がありましたが、コロナ禍では現実には厳しい現状にあります。 財政健全化計画の再構築が必要と思いますが、今後の取り組みについて伺います。		
	2. マイナンバーカードについて	1. マイナンバーカードは令和3年から健康保険証としての利用が始まり、利便性の向上が見込まれるところです。医療機関でのカードリーダーの導入が必要であり、厚生労働省の補助もあるようですが、市内医療機関の導入見込みについてどの程度把握しているのか伺います。 また、取得率が低いと言われていることから、マイナポイント事業の延長を国に要望すべきと思いますが、お考えを伺います。		